

くぬぎ山地区自然再生全体構想(案)

抜粋(修正部分)

平成 17 年 2 月

くぬぎ山地区自然再生協議会

第1章 第4節 くぬぎ山地区の課題

平地林の荒廃

くぬぎ山地区の平地林は、長い間、農家の日常生活のための薪や建築材の供給源として、定期的な伐採更新が繰り返されるとともに、堆肥の原料を得るためのくず掃き(落ち葉掃き)や、そのための下刈りなどが行われてきた。

しかし、化石燃料や化学肥料の普及により、農家の日常生活での平地林の役割の多くが失われたことや、非農家や近隣に居住していない土地所有者の増加によって、平地林の荒廃が進んでいる。

平地林の利用低下に伴う荒廃は、廃棄物の不法投棄等をもたらす一因にもなっており、土地所有者や市民団体、行政による撤去が繰り返し行われているものの、不法投棄は後を絶たないのが現状である。また、アカマツの枯損も進行しており、倒木が目立つ場所も多くなっている。

平地林の改変

農家の日常生活での平地林の役割の多くが失われたことは、平地林の荒廃を招くと同時に相続等を契機とした土地の売却につながり、その結果として平地林の改変が進行した。現在、くぬぎ山地区の樹林地は約70%へと減少し、残りの約30%は住宅、資材置場、廃棄物処理施設、工場倉庫、墓地などの非樹林地が占めている。近年においても廃棄物処理施設の拡張や残土投棄などによる平地林の改変が依然として進行している。こうした平地林の改変の抑制や既に改変された土地の復元が重要な課題となっている。

生物多様性の保全

萌芽更新のための伐採や下刈り、落ち葉掃きなど、平地林に対する人のかかわりは、平地林特有の生態系の成立に寄与し、生物の多様性が維持されてきた。しかし、平地林の改変の進行は、動植物の生息環境を脅かし、生物の多様性の低下につながることが懸念されており、生物の多様性の保全が課題となっている。

ニーズの多様化

平地林の改変が進んだ理由の一つとして、周辺地域の都市化の進行に伴って生じた、資材置場等の都市的な土地利用のニーズの高まりが挙げられる。その一方で、くぬぎ山地区は、環境問題に対する県民意識の高揚により、都市近郊の環境保全活動の対象地としても注目され、自然環境学習や余暇活動の場としてのニーズが増加しつつある。このようにくぬぎ山地区に対する多様化したニーズにどのように対応するかが課題となっている。

第2章 くぬぎ山地区の自然再生の目標

第1節 自然再生の目標

課題にあるように、くぬぎ山地区においては、平地林の荒廃や改変が進み、長い年月をかけて蓄積してきた自然と調和した伝統、文化、産業、生活様式などが失われつつある。環境の世紀と呼ばれる現在、循環と共生の二次林文化を改めて見直し、身近な自然を大切にしていくことが重要である。

本構想ではくぬぎ山地区を、高度経済成長期前のかつての武蔵野の平地林のような、人のかかわりによって育まれてきた多様な環境を有する自然に再生し、持続可能な社会にふさわしい魅力的な場所にすることを目指し、次の目標を定める。

目標1 平地林の荒廃を抑制し、豊かな緑と生物の多様性を維持する

目標2 平地林の改変を抑制し、武蔵野の風景を将来世代に引き継ぐ

目標3 改変地を復元し、良好な平地林を再生する

目標4 利活用を図り、平地林の新たな価値を創造する

第2節 目標達成のための取り組み

1. 「平地林の荒廃を抑制する」ために

(1) 農とのつながりの再生

平地林の成立と維持は、落ち葉を用いた循環型農業と密接に関連している。そこで、下刈りや落ち葉掃きなどの障害となる倒木の撤去や、長期間管理を行っていなかった林の除間伐などにより循環型農業を支援し、くぬぎ山地区及び周辺地区における循環型農業の再生と振興を図る。

(2) 平地林管理の新たなしくみの構築

くぬぎ山地区は全体で約 152 ヘクタールと広大であり、全域で一律に、かつての農用林、薪炭林として再生を目指すのは労力、発生材の処理・活用などの面から課題が多い。一方、くぬぎ山地区は、都市近郊に位置し、平地林管理のための多くの市民参加が望める立地条件と、二次林特有の豊かな動植物相が残る自然的条件を備えている。そこで、農用林的な利用や、平地林の持つ環境機能の再生を目標として、ボランティア登録制度の導入や活動のコーディネートを行うしくみを構築し、多くの県民やNPOなどに管理活動への参加を求めていく。

(3) ゴミなどの不法投棄への対処

ゴミなどの不法投棄が発見されたときは迅速かつ適正に対処する。また、不法投棄対策を地元住民やNPOなどの協力を得て実施する。

(4) 平地林管理計画の策定

くぬぎ山地区の平地林は、下刈りや落ち葉掃きなどの林床管理や、萌芽更新などによって維持されてきた。管理はこれらの伝統的な平地林管理を基本とするが、実施可能な管理作業量が未知数であること、生物多様性の保全には多様な環境の創出が望まれること、アカマツの衰退が進んでいることなどの課題があり、土地所有者の意向や科学的知見、管理作業量などを勘案して、現実的な植生管理計画を策定する。

2. 「平地林の改変を抑制する」ために

(1) 緑地保全制度の導入

平地林の改変を抑制し、持続性を確保するために緑地保全制度を導入する。

(2) 土地所有者が平地林を維持していけるしくみの構築

平地林所有者への税の優遇措置や平地林管理への支援など、土地所有者が平地林を維持していくことのできるしくみを構築する。

(3) トラスト等による平地林の保全

市民等が資金を出し合って土地を取得、管理するトラストによる平地林の保全を推進する。

3. 「改変地を復元する」ために

(1) 非樹林地における植生復元

--

4. 「利活用を図る」ために

(1) 環境学習の場としての活用方式の検討

くぬぎ山地区は、平地林の自然や農業と平地林との関わり等について体験的に学ぶことができる場であることから、教育機関との連携を通じて環境学習の場としての活用方式を検討する。

(2) レクリエーション利用の方策に関する検討

くぬぎ山の自然に負荷を与えない範囲での、レクリエーション利用の方策について検討する。

(3) 森林資源の有効活用

萌芽更新などの管理によって大量の森林資源が発生する。平地林を継続的に管理していくためには、これらの有効利用を図っていくことが必要とされる。くぬぎ山地区を中心とした、森林資源の活用システムの構築を図る。

5. 各目標共通の取り組み

(1) 事前の生物調査とモニタリングの実施

自然の再生は、動植物を相手にしているため、結果が予測できない部分が残される。そのため、事業の実施にあたっては、事前に生物調査を実施する。また、定期的に動植物の状況を把握して、目標との誤差を修正しながら、維持管理を実施していく。

(2) 動植物の保護

くぬぎ山地区に生息生育する動植物を保護するために、定期的な調査を実施する。また、必要に応じてこれらの種に適した環境を維持するための管理や、植物の盗掘防止対策などを実施する。

(3) 情報発信

くぬぎ山地区に多くの人に興味を持ってもらい、参加を促進するために、県民などへの情報発信の充実を図る。

(4) 資金の確保

各事業実施者は、当該事業を円滑に進めるために必要な資金の確保に努める。

第3章 くぬぎ山地区自然再生協議会の 組織および役割分担

第1節 くぬぎ山自然再生協議会設置要綱

(略)

第2節 協議会委員名簿

(略)

第3節 役割分担

くぬぎ山地区における自然再生を進めるため、前章の「目標達成のための取り組み」を軸とした、各主体の取り組みと連携が不可欠である。

現在提出されている取り組みは次表のとおりである。

表 現在提出されている取り組み

種 別	学識委員			団 体												
	犬井正	飯田芳男	亀山章	いるま野農業協同組合	FPTプラン	おおたかの森トラスト	(株)金子製作所	川越緑のサポーター	きれいな空気を取り戻す会	櫛山を考える会	くぬぎ山を考える会 地権者の会	くぬぎ山を創る会	グリーンエコタウン	グリーンクラブ21	こどもと森の会	
委員名																
(団体の場合)氏名				小高儀三郎	古屋賢一	足立圭子	金子千春	金子晃	小谷栄子	横山 夢	平岡久司	高田昌彦	平林美枝子	山崎英樹	大西和江	
1 「平地林の荒廃を抑制する」ために																
(1) 農とのつながりの再生																
(2) 平地林管理の新たなしくみの構築																
(3) ゴミなどの不法投棄への対処																
(4) 平地林管理計画の策定																
2 「平地林の改変を抑制する」ために																
(1) 緑地保全制度の導入																
(2) 土地所有者が平地林を維持していけるしくみの構築																
(3) トラスト等による平地林の保全																
3 「改変地を復元する」ために																
(1) 改変地における植生復元																
4 「利活用を図る」ために																
(1) 環境学習の場としての活用方式の検討																
(2) レクリエーション利用の方策に関する検討																
(3) 森林資源の有効活用																
5 各目標共通の取り組み																
(1) 事前の生物調査とモニタリングの実施																
(2) 動植物の保護																
(3) 情報発信																
(4) 資金の確保																
6 全体的事項																
専門的な助言																
総合的な支援																
その他の取り組み(平地林管理活動への協力・参加ほか)																

表 現在提出されている取り組み

種 別	団 体										
	(財)埼玉県生態系保護協会	彩の国緑の推進連絡会	狭山丘陵の自然と文化財を考える連絡会議	(仮称)狭山緑再生の会	三富江戸農法の会	自然を守る狭山リサイクルの会	所沢・生命と緑を守る会	(社)所沢青年会議所	鳩峰の森を守る会	武蔵野に学ぶ会	(財)武蔵野の未来を創る会
委員名											
(団体の場合)氏名	須永伊知郎	田村博一	勅使河原彰	永倉邦男	横山進	吉村七郎	城野律子	大石健一	岡田弘美	関谷豊	関口一郎
1 「平地林の荒廃を抑制する」ために											
(1) 農とのつながりの再生											
(2) 平地林管理の新たなしくみの構築											
(3) ゴミなどの不法投棄への対処											
(4) 平地林管理計画の策定											
2 「平地林の改変を抑制する」ために											
(1) 緑地保全制度の導入											
(2) 土地所有者が平地林を維持していけるしくみの構築											
(3) トラスト等による平地林の保全											
3 「改変地を復元する」ために											
(1) 改変地における植生復元											
4 「利活用を図る」ために											
(1) 環境学習の場としての活用方式の検討											
(2) レクリエーション利用の方策に関する検討											
(3) 森林資源の有効活用											
5 各目標共通の取り組み											
(1) 事前の生物調査とモニタリングの実施											
(2) 動植物の保護											
(3) 情報発信											
(4) 資金の確保											
6 全体的事項											
専門的な助言											
総合的な支援											
その他の取り組み(平地林管理活動への協力・参加ほか)											

表 現在提出されている取り組み

種 別	個 人																
委員名	井草長雄	池田貴昭	石澤直也	石田武治	板屋義彦	井上孝夫	牛窪伸幸	大河原豊	大木忠洋	大谷直美	大貫義一	荻野美和	尾関雄一郎	片桐一郎	賀登環	小林真弓	斉藤光子
(団体の場合) 氏名	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
1 「平地林の荒廃を抑制する」ために																	
(1) 農とのつながりの再生																	
(2) 平地林管理の新たなしくみの構築																	
(3) ゴミなどの不法投棄への対処																	
(4) 平地林管理計画の策定																	
2 「平地林の改変を抑制する」ために																	
(1) 緑地保全制度の導入																	
(2) 土地所有者が平地林を維持していけるしくみの構築																	
(3) トラスト等による平地林の保全																	
3 「改変地を復元する」ために																	
(1) 改変地における植生復元																	
4 「利活用を図る」ために																	
(1) 環境学習の場としての活用方式の検討																	
(2) レクリエーション利用の方策に関する検討																	
(3) 森林資源の有効活用																	
5 各目標共通の取り組み																	
(1) 事前の生物調査とモニタリングの実施																	
(2) 動植物の保護																	
(3) 情報発信																	
(4) 資金の確保																	
6 全体的事項																	
専門的な助言																	
総合的な支援																	
その他の取り組み（平地林管理活動への協力・参加ほか）																	

表 現在提出されている取り組み

種 別	個 人																
委員名	佐藤昇	佐藤孝夫	澤賀津子	清水香織	鈴木玄甫	鈴木瑞枝	砂川育雄	関谷和博	田中里司	田畑勇	田村鶴雄	露口欣爾	長岡素彦	中島秀行	深田良洋	福山康夫	別府清毅
(団体の場合) 氏名	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
1 「平地林の荒廃を抑制する」ために																	
(1) 農とのつながりの再生																	
(2) 平地林管理の新たなしくみの構築																	
(3) ゴミなどの不法投棄への対処																	
(4) 平地林管理計画の策定																	
2 「平地林の改変を抑制する」ために																	
(1) 緑地保全制度の導入																	
(2) 土地所有者が平地林を維持していけるしくみの構築																	
(3) トラスト等による平地林の保全																	
3 「改変地を復元する」ために																	
(1) 改変地における植生復元																	
4 「利活用を図る」ために																	
(1) 環境学習の場としての活用方式の検討																	
(2) レクリエーション利用の方策に関する検討																	
(3) 森林資源の有効活用																	
5 各目標共通の取り組み																	
(1) 事前の生物調査とモニタリングの実施																	
(2) 動植物の保護																	
(3) 情報発信																	
(4) 資金の確保																	
6 全体的事項																	
専門的な助言																	
総合的な支援																	
その他の取り組み（平地林管理活動への協力・参加ほか）																	

表 現在提出されている取り組み

種 別	個 人						関係行政機関	県・市町
	安井若子	安江昌子	山崎和正	山田みゆき	横山美枝子	渡部吉己		
委員名								
(団体の場合) 氏名	/	/	/	/	/	/	/	/
1 「平地林の荒廃を抑制する」ために								
(1) 農とのつながりの再生								
(2) 平地林管理の新たなしくみの構築								
(3) ゴミなどの不法投棄への対処								
(4) 平地林管理計画の策定								
2 「平地林の改変を抑制する」ために								
(1) 緑地保全制度の導入								
(2) 土地所有者が平地林を維持していけるしくみの構築								
(3) トラスト等による平地林の保全								
3 「改変地を復元する」ために								
(1) 改変地における植生復元								
4 「利活用を図る」ために								
(1) 環境学習の場としての活用方式の検討								
(2) レクリエーション利用の方策に関する検討								
(3) 森林資源の有効活用								
5 各目標共通の取り組み								
(1) 事前の生物調査とモニタリングの実施								
(2) 動植物の保護								
(3) 情報発信								
(4) 資金の確保								
6 全体的事項								
専門的な助言								
総合的な支援								
その他の取り組み（平地林管理活動への協力・参加ほか）								